

木曜例会 2012年4月5日

Mr. Norm Boniface

The Twilight Years; Aged Care in Australia



日本に来られたら恒例と言ってもよい、Normさんの講演であった。

はじめに、出石に行ってきたこと、そこは小京都といっても良い緑豊かは美しい町だった。

日本は、もう暖かく、桜を楽しむことが出来ると思っていたが、まだ寒く、桜もまだの寒い早春である。

最初に、Henry Wadsworth Longfellow の詩を示された。

**So Nature deals with us, and takes away
Our playthings one by one, and by the hand
Leads us to rest so gently, that we go
Scarce knowing if we wish to go or stay,
Being too full of sleep to understand
How far the unknown transcends the what we know.**

人生の黄昏時を迎えるにあたっての、自然が我々に与えてくれ、そして奪い去っていく詩を示されたものと思う。

日本とオーストラリアの違い。

日本には、元々、「孝」(両親や先祖を敬う)という思想がある。

オーストラリアは、1901年の独立以降、国家として充実してきた。

オーストラリアの国土は日本の20倍(東西4000km 南北3700km)で、人口は日本の1/6である。

65歳以上の日本人はオーストラリアの全人口より多い。

オーストラリアの現状

•65歳以上の人口が22%から、2050年には27%になるといわれている。

Silver bullet

↑

Workforce participation 税金のインセンティブ
年金給付を遅らせる。

ファミリーサイズを大きくする。
移民を増やす。

•Home and Community Care

2009-2010年に 61 万人が HACC を受けている。基本的な在宅ケア
7 万人が Intensive care を受けている。
2 万人がさらに重度のケアを受けている。

•Mean's test 財産 (Ownings) や収入 (Income) を調査して適正な支援を考える。

↓

高齢者増加を支えきれなくなる。→パイを増やすしかない。

対策

•年金給付時期を遅くする。(現在 65 歳→2017-23 年には 67 歳になる)

•税金

•高齢者雇用を増加させる。

•Family size を大きくする。 現在 3.7 人。出生率は 1.8 人

•移民の増加・・・現在はイギリス、中国、インドが多い。

移民は 89% が 40 歳未満であり、労働力として支えてくれる。

彼のお父さんが 1927 年にイギリスから来た移民である。

退職後、Lota House という Retirement villa で快適に生活しておられる。(92 歳)



お父さんとご一緒された Cowra の美しい日本庭園の写真が印象に残る。

Cowra は第二次世界大戦時の捕虜収容所のあった所で、日本人捕虜の脱走が起った悲しい歴史を持っており、日本人の慰霊碑があるようです。



Retirement villa は 250,000A\$—600,000A\$ (2000 万円—4800 万円)位で入居でき、生活費は 320A\$/月である。

Villa, apartment, studio タイプと種々あり、異なるサービスを受けられる。

年金は 18,000A\$/年位である。

ほぼ、年金の 84%で生活できる。

日本の高齢者は 2,500 万人で、このままでは 2050 年に 1.4 人で 65 歳以上を支える状況になると
いう極めて厳しい状況である。

最後にシェイクスピアのソネットを出された。

**Like as the waves make towards the pebbled shore,
So do our minutes hasten to their end**